

開講日	2008年12学期 月曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室B	医	技	保
コーディネーター	名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科 生体制御情報系 准教授 高石 鉄雄			○	●	●
				※●:コア科目、○:選択科目		

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】 フィットネスクラブあるいは自治体の体育施設などで既に運動指導に従事する者に対し、公衆衛生学、運動生理学、スポーツ医学、栄養学などの講義およびストレッチング、有酸素運動、筋カトレーニングなどから構成される実習を行ない、より実践力のある運動指導者を育成する。</p> <p>【期待される成果】 特定保健指導の対象となった中高齢者に対する運動指導が可能な人材の育成につながる</p>
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
メタボリック症候群とは	1	メタボリック症候群と特定保健制度	特定保険指導制度設立の医学的、社会的背景について理解する。	12月1日	教授 徳留信寛 名古屋市立大学大学院医学研究科
	2	メタボリック症候群における各疾患の症状と治療	メタボリック症候群の各診断項目について、その症状、発症原因、改善の必要性、治療方法について理解する。	12月8日	准教授 神谷吉直 名古屋市立大学大学院医学研究科
	3	現代人の食生活とメタボリック症候群	現代人の食生活の問題点とメタボリック症候群の改善および運動効果を上げるための食生活について理解する。	12月15日	講師 石原健吾 椋山学園大学 生活科学部
メタボリック症候群改善のための運動と食事	4	健康づくりのための運動Ⅰ	メタボリック症候群の予防と改善における有酸素運動の必要性和実施方法、およびその原理について理解する。	12月22日	准教授 高石鉄雄 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科
	5	健康づくりのための運動Ⅱ	メタボリック症候群の予防と改善における筋力づくり運動の必要性和その具体的方法、および加齢に伴う筋力低下とその改善方法について理解する。	1月5日	准教授 高石鉄雄 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科
	6	健康づくりのための運動Ⅲ	水中運動の特徴および水中運動による健康づくりの方法と課題について理解する。	1月19日	教授 若吉浩二 びわこ成蹊スポーツ大学
	7	運動処方Ⅰ	運動プログラムの作成手順とその具体的方法について理解する。	1月26日	所長 植屋節子 健康運動企画センター
	8	運動処方Ⅱ	運動プログラム実施による健康指標、運動機能などの変化について理解する。	2月2日	所長 植屋節子 健康運動企画センター
運動機能障害に対する理解	9	運動機能障害(上肢)	加齢あるいは運動不足による運動機能低下と筋肉痛、関節痛などの部位別発症原因について理解する。更に、これらの機能障害・愁訴を有する者に対する運動指導上の留意点について理解する。	2月9日	准教授 関谷勇人 名古屋市立大学大学院医学研究科
	10	運動機能障害(下肢)	加齢あるいは運動不足による運動機能低下と筋肉痛、関節痛などの部位別発症原因について理解する。更に、これらの機能障害・愁訴を有する者に対する運動指導上の留意点について理解する。	2月16日	准教授 小林正明 名古屋市立大学大学院医学研究科
運動指導実習	11	運動指導法Ⅰ [実習]	運動プログラム作成に関わる体力測定の手順と具体的方法、準備運動および整理運動などの指導方法について理解する。	2月23日	所長 植屋節子 健康運動企画センター
	12	運動指導法Ⅱ [実習]	各種内科的疾患保有者に対する有酸素運動および筋力づくり運動の指導方法について理解する。	3月2日	所長 植屋節子 健康運動企画センター
	13	運動指導法Ⅲ [実習]	整形外科的機能障害および関節その他に痛み等の愁訴を有する者に対する運動指導方法について理解する。	3月9日	講師 後藤英之 名古屋市立大学大学院医学研究科
	14	運動指導法 [実習]	障害発生予防および筋・関節痛緩和のためのテーピング方法、補助具の使用方法などについて理解する。	3月16日	助教 島典広 鹿屋体育大学
	15	救急蘇生法 [実習]	運動指導中の突発的事故に対する対処法について理解する。	3月23日	助教 安藤雅樹 名古屋市立大学病院救急部